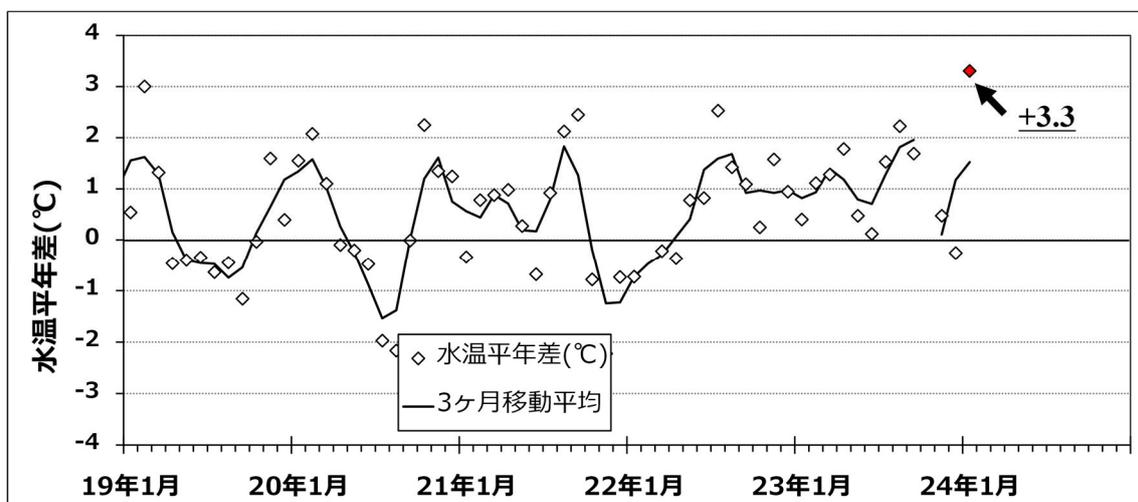


【水温の変動】

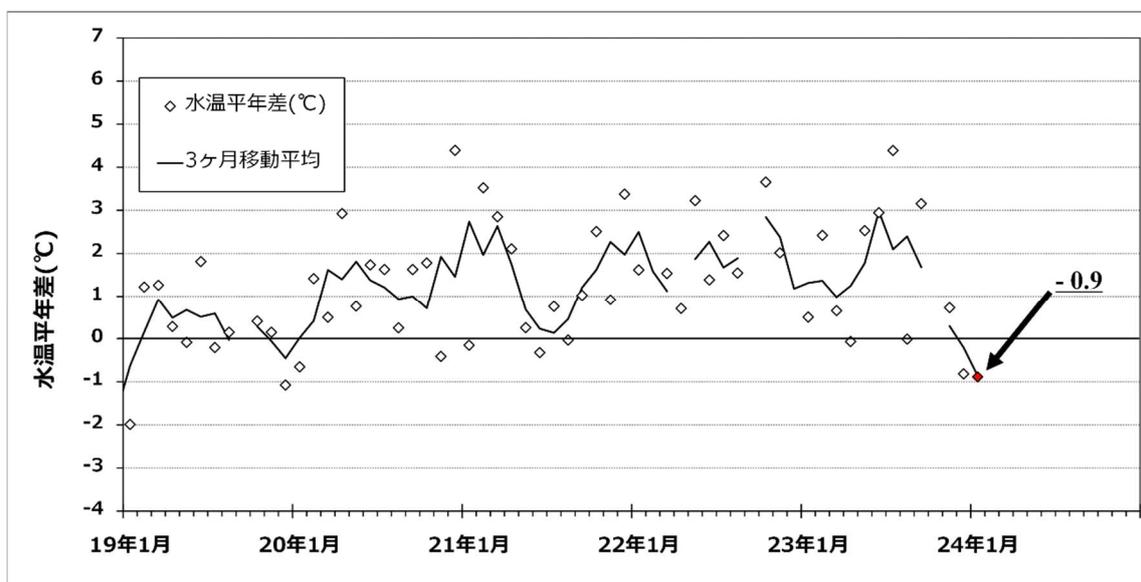
1月17、18日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部の表層水温は平年差 $+3.3^{\circ}\text{C}$ 、沖合域 200m 深水温は -0.9°C となっていました。

1月16日の人工衛星画像によると、黒潮は御前崎沖北緯 31 度付近から御前崎沖北緯 34 度付近を通過する As 型流路となっており、渥美外海の海面水温は黒潮が御前崎に著しく接近している影響で、高温傾向が顕著となっていました。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去 10 年平均値との差

【渥美外海の海況】

水温の水平分布図によると、黒潮系暖水は、沖合南東から渥美外海沿岸域へ波及しており、県境付近まではごく沿岸近くまで達しています。鉛直断面図によると、暖水は水深 100m まで一様に分布しています。また、等温線の分布から水深 200m 以深の深場で西向きに弱く流れていると考えられます。また、クロロフィル a 濃度は、湾口部で高いものの、渥美外海では一様に低く、ピークはみられません。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

